

センサースイッチコントローラー SWC295II

SENSOR SWITCH CONTROLLER

取付／取扱説明書

12V車専用 汎用製品

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●この取付／取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。本製品取り付け後も大切に保管し、必要な時にお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証について

●付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がなければ、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※保証規定は保証書をご参照ください。
※保証書はいかなる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。
※本製品に貼付している封印シールをはがさないでください。はがした場合は、保証期間に関わらず保証対象外となります。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から、修理対応期間（保守部品の保有年数）を製造打ち切り後、6年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間（保守部品の保有年数）を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

ご相談窓口

お電話 086-486-0442
(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】
月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC)
<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)
<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム
<https://www.datasystem.co.jp/>

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11
本取扱説明書は著作権法で保護されています。取付(取付)説明書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

SWC295II-1610-AKN

内容物一覧

- SWC295II本体 ×1
- ドップラーセンサー ×1
- 接続ハーネス ×1
- ドライブレコーダー電源供給アダプター ×1
- オスギボシ ×1
- オスギボシ用スリーブ ×1
- メスギボシ ×1
- メスギボシ用スリーブ ×1
- エレントラップ(赤) ×4
- 結束バンド ×4
- 両面テープ(本体用/ドップラーセンサー用) 各×1
- 保証書&ユーザー保証登録カード ×1
- 取付/取扱説明書(本書) ×1

別売品

◆ドップラーセンサー
品番:SWC-S2(青LED仕様)

※SWC295IIIにSWC-S1(赤LED仕様)は使用できません。

仕様

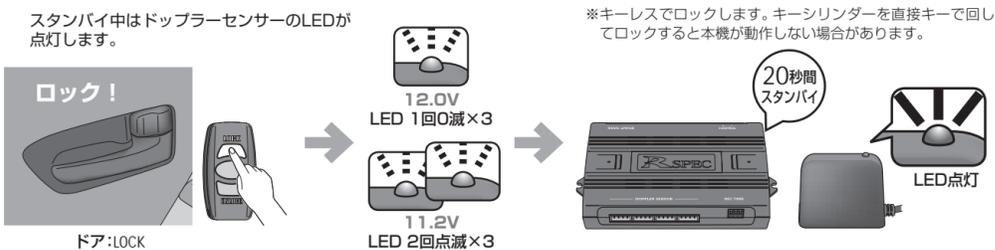
●コントロールユニット
外形寸法 W110×H25×D70(mm)(突起部含まず)
重量 約115g(本体のみ)
電源電圧 DC12V
使用温度範囲 -10℃～+60℃
ヒューズ 1A/3A/4A
消費電流 待機中:約25mA
動作中:センサー1個使用時 約35mA～55mA以下*
センサー4個使用時 約90mA～130mA以下*
スリープモード中:約7mA
※LED消灯時間設定により変わります。また、接続機器(ドライブレコーダー等)の消費電流は除きます。

●ドップラーセンサー
外形寸法 W41×H34×D20(mm)(突起部含まず)
ケーブル長 5m
規格 電波法技術基準適合品
送信電波 24GHz帯使用

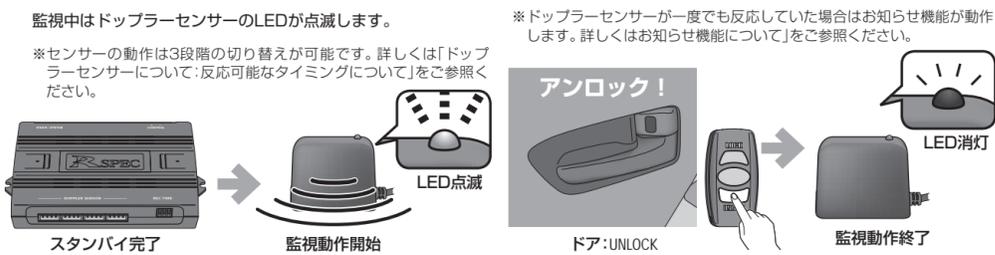
使用方法

基本動作

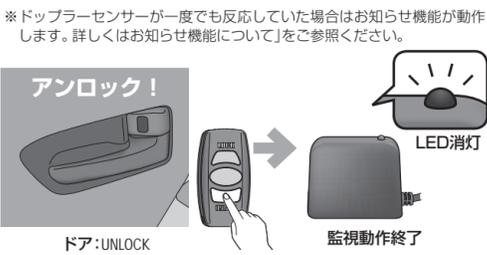
1. ドアをロックする*と本機が起動し、選択されているスリープモード移行電圧に対するLED点滅動作をおこなってから20秒間スタンバイ状態になる



2. スタンバイ状態が終了するとドップラーセンサーが監視を開始する

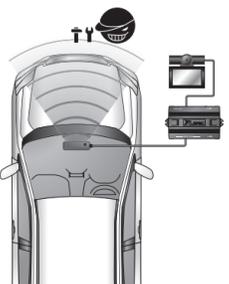


3. ドアをアンロックすると監視を終了する*



機能/特長

- 本製品は駐車中にドライブレコーダーに電源を供給する装置です。駐車中にドップラーセンサーで不審者(動体)を監視し、ドップラーセンサーが動体を検知するとドライブレコーダーに一定時間電源を供給します。*
- ※電源供給時間は20秒/30秒/50秒/60秒の4通り選べます。但し、ドライブレコーダーの機種によっては電源が入ってから録画が開始されるまでに若干時間がかかりますので、実際の録画時間は電源供給時間よりも短くなる場合があります。
- ※電源を供給すると自動的に録画を開始するドライブレコーダーのみ使用できます。衝撃が加わったときの録画するタイプのドライブレコーダーは使用できません。
- ※エンジン作動中(ACC-ON中)は常に電源を供給し続けますので、通常時もドライブレコーダーは使用できます。
- 電源供給終了前の12秒間に、ドップラーセンサーが再度動体を検知すると電源供給時間を延長する機能を搭載しています。
- 監視中は車両側バッテリーを電源として使用しますので、バッテリー上がりを防止するためにスリープモードを搭載しています。バッテリー電圧が12.0V未満または11.2V*1未満になると、本製品はスリープモードに移行し動作停止します。*2
- ※1スリープモードに移行する電圧は12.0Vと11.2Vの2種類から選べます。
- ※2スリープモード移行電圧を12.0Vに設定している場合に限り、ドライブレコーダーへの電源供給中はスリープモードに移行しません。また、スリープモード中にバッテリー電圧が12.0V以上または11.2V以上に回復しても監視状態には戻りません。
- キーレスでドアロックすると約20秒後に監視を開始、ドアアンロックすると自動的に監視を停止するドアロック連動機能を搭載しています。*
- ※青線・緑線をドアロックモーターに接続している場合のみ
- ドップラーセンサーは最大4個まで接続可能です。 ※[別売品]ドップラーセンサー1個 品番:SWC-S2



ご使用になる前に(必ずお読みください)

注意事項の定義

ご使用の前に、この「ご使用になる前に」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

注意 守らないと車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの

重要 本製品を使用する上で知っていただきたいもの

使用上の注意

- 本製品はドップラーセンサーが動体を検知することでドライブレコーダーに電源を供給する装置です。本製品を使用しても不審者を確実に録画することや車両へのイタズラ・盗難などの防止を保証することはできません。
- 本製品にはバッテリー上がりを防止するためにスリープモードを搭載していますが、バッテリーの劣化状態や使用状況によってはバッテリー上がりを防止できない場合があります。また、万が一バッテリーが上がっても当社は一切の責任を負いません。
- バッテリー上がりを防止するため最低でも一週間に一度はエンジンを始動してください。
- 本製品に連動させているドライブレコーダーなどの装置の故障や使用したメモリーカードの故障・データ破損等について、当社は一切の責任を負いません。
- ドライブレコーダーのカメラの向きや、電源を供給してから録画を開始するまでにかかる時間によっては不審者を録画できない場合があります。
- 車両側バッテリーが弱っていると、スリープモードに移行しやすくなり動作が停止するなど正常に機能しない場合があります。
- 熱反射ガラスを使用している車両に使用する場合、ドップラーセンサーを熱反射ガラスに向けて使用しないでください。熱反射ガラスはドップラーセンサーが発する電波を遮断するため、車外の不審者に対して反応しにくいまたは反応しない場合があります。
- 本機の監視開始/監視停止をドアロックモーターに連動させている場合、キーシリンダーを直接キーで回してドアロック/アンロックすると本機が動かない場合があります。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。
- エンジンスターターやターボタイマーは併用しないでください。それらを併用すると本製品を正常に使用できません。

取り付け上の注意

- 本製品は防水構造ではありません。本体・センサーともに必ず車内に取り付けてください。
- 取り付け後に設定がおこなえるよう本体は設定変更可能な場所へ設置してください。
- 本製品は12V車専用です。
- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱い業者でおこなってください。
- 本体を直射日光が当たる場所やヒーターの温風が直接当たる場所・高温・多湿になる場所には設置しないでください。故障や誤動作等の原因になります。
- 本体は必ず付属の両面テープ等で車両側に固定してください。また、使用中にケーブルが引っ張られ本体から外れないようケーブルの取り回しにご注意ください。
- 熱反射ガラスを使用している車両に使用する場合、ドップラーセンサーを熱反射ガラスに向けて設置しないでください。熱反射ガラスはドップラーセンサーが発する電波を遮断するため、車外の不審者に対して反応しにくいまたは反応しない場合があります。
- ドップラーセンサーはフロントガラスに貼り付けて設置しないでください。フロントガラスに貼り付けると保安基準に適合しません。
- ドップラーセンサーのLEDを押ししたり衝撃を加えたりしないでください。ドップラーセンサーが破損する恐れがあります。
- 本製品に連動させることが可能なドライブレコーダー等の装置の消費電流は最大で1Aです。
- 車両側及び本製品の配線を傷つけたり本体を変形させたりしないでください。
- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。*バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容等をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法などについては、機器の取扱説明書をご参照ください。
- 本体または周囲の温度が使用温度範囲を超えると動作しなくなる場合があります。

連動させる機器についての注意

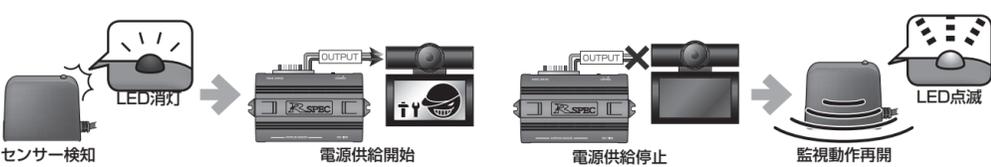
- 連動可能な機器は、電源電圧12V・最大消費電流1A以下に限りま。
- フラッシュライトや防犯アラームなど、駐車中以外は動作させたくない機器を接続した場合、エンジンを始動する前に必ず接続した機器をOFFにしてください。エンジン作動中は接続した機器の電源が入りっぱなしになりますので必ずOFFにする必要があります。OFFにできない場合は接続を外して動作しないよう対処してください。

駐車中に本機を動作させたくないとき

- 立体駐車場使用時など駐車中に動作させたくないときは、キーレスでドアロック操作を3回連続しておこなってください。1回目のドアロック操作で本機が動作を開始しますが、20秒間のスタンバイ中にドアロック信号を2回検知すると動作が停止します。*上記操作で動作を停止させたあとに動作させる場合は、キーレスでアンロック操作を1回おこなうか、またはイグニッションキーでアクセサリ電源をONにしてください。*キーレスのロックボタンとアンロックボタンが共通など、キーレスの仕様によってはこの操作ができない場合があります。

監視中に動体を検知すると

1. ドップラーセンサーのLEDが消灯し、ドライブレコーダーに電源を供給する
2. 電源供給時間が経過すると、電源供給を停止して監視を再開する



- ドライブレコーダーへの電源供給中にドアをアンロック(または市販スイッチをアンロック側→OFF)すると、本機の電源が切れると共にドライブレコーダーへの電源供給も停止します。
- 本機は電源供給時間を延長する機能を搭載しています。詳しくは「機能/特長」をご参照ください。
- アクセサリ電源(ACC)がONになると本機は監視動作をおこなわず、ドライブレコーダーに電源を供給し続けます。

安全機能

車両側バッテリーの電圧が12.0V未満または11.2V未満になると、本機はスリープモードに移行します。

- スリープモード中は一切の動作をおこないません。また、動作中にスリープモードに移行した場合は動作を停止します。
- スリープモードは、バッテリー電圧が12.0V以上または11.2V以上になると自動的に解除されます。但し動作中にスリープモードに移行し、その後バッテリー電圧が12.0V以上または11.2V以上に回復しても監視動作は再開しません。監視動作を再開させる場合は、イグニッションキーでアクセサリ電源をONにした後、キーレスでロック操作をおこなってください(市販スイッチの場合はOFF→ロック側→OFF)。

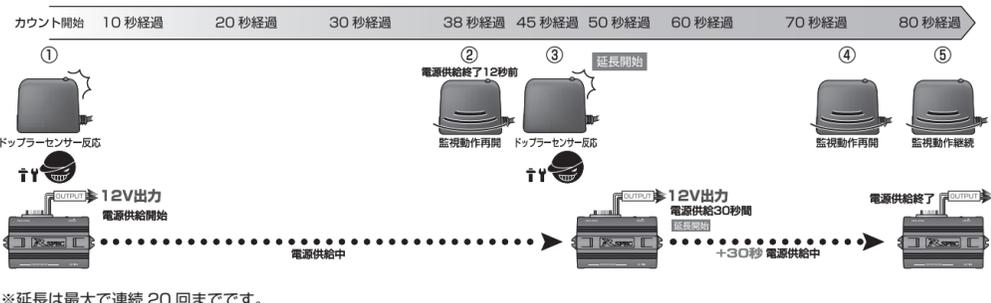
お知らせ機能について

ドアロック後に一度でもドップラーセンサーが反応すると、ドアをアンロックしたとき(本機の動作が停止したとき)にドップラーセンサーのLEDを10秒間高速点滅させてドップラーセンサーが反応したことをお知らせします。

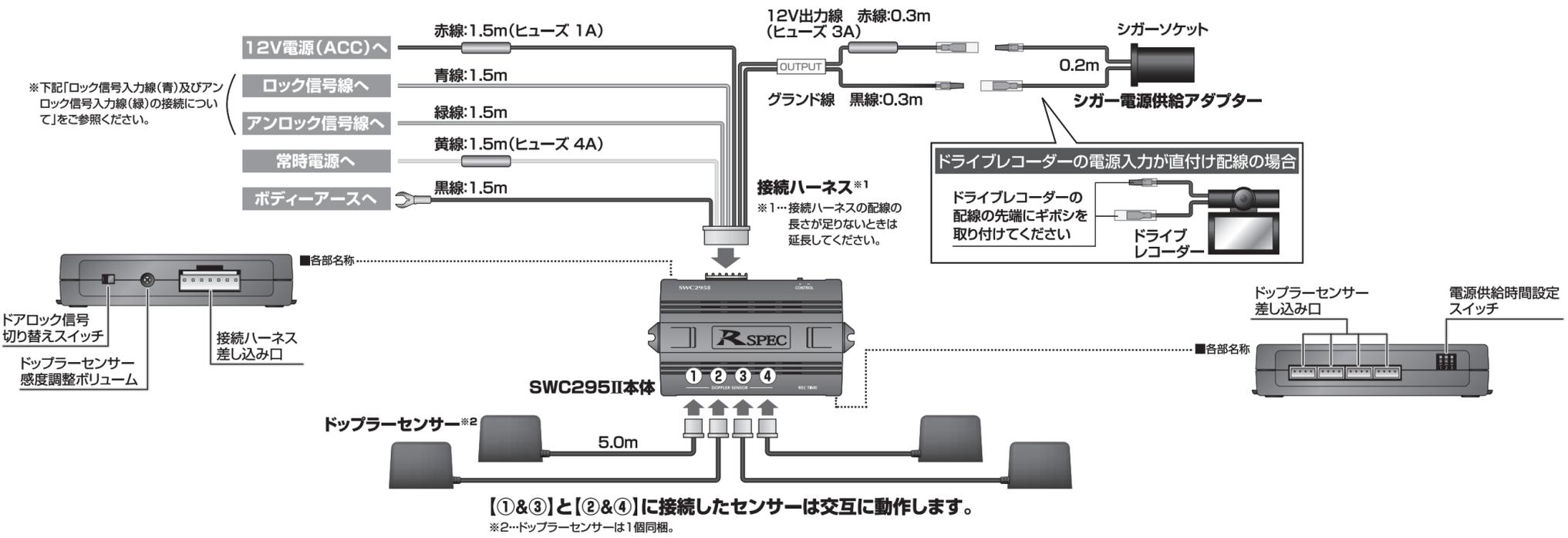


電源供給時間と延長機能の動作イメージ

- 例) 電源供給時間を50秒に設定
- ①ドップラーセンサーが不審者に反応し、電源供給を開始
 - ②電源供給から38秒後に、ドップラーセンサーが監視を再開
 - ③監視再開から12秒以内に、再び不審者に反応すると、電源供給時間が30秒延長*
 - ④延長開始から18秒後に、再びドップラーセンサーが監視を再開
 - ⑤監視再開から12秒以内に不審者に反応しなれば、電源供給が終了。ドップラーセンサーは通常の監視動作を再開。
- 電源供給時間は合計80秒間



接続概要図



ロック信号入力線(青)及びアンロック信号入力線(緑)の接続について

ロック信号入力線およびアンロック信号入力線に接続すると、キーレスでのドアロック/ドアアンロックに連動して監視開始/監視停止できます。

1. ドアロック信号(プラス制御・マイナス制御)の判別

車両のドアロック制御を調べてください。

プラス(+)制御とは

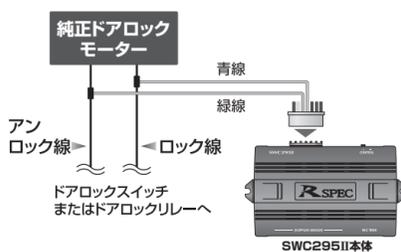
ドアロックと同時にロック線から +12V が出力されます。ドアアンロックと同時にアンロック線から +12V が出力されます。

マイナス(-)制御とは

ドアロックと同時にロック線から 0V が出力されます。(GND と導通します) ドアアンロックと同時にアンロック線から 0V が出力されます。(GND と導通します)

2. ロック線/アンロック線への接続

ドアロック制御によってロック線/アンロック線への接続を行ってください。



3. ドアロック信号切替スイッチの設定

取得する信号によって「ドアロック信号切替スイッチ」の設定を行ってください。



ロック線/アンロック線へ接続できない場合(適切な信号線が見つからない場合)

接続方法

ON-OFF-ONタイプ(3接点式)の市販スイッチを別途用意して右図のように接続してください。



●この方法は本機の電源をOFFにする際に車両のドアを開けて市販スイッチを操作する必要がありますので、その間にドップラーセンサーが反応する場合があります。

監視開始

市販スイッチを使用している場合は、市販スイッチをロック側→OFFと操作します。市販スイッチをロック側ONに切り替え、すぐにOFFに戻してください。

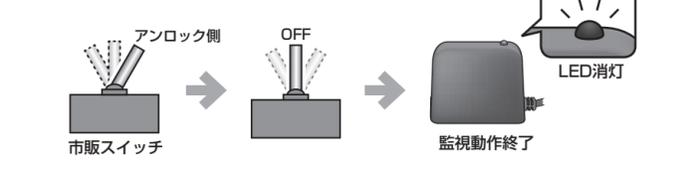
※OFFに戻さないと監視を開始しません。



監視終了

市販スイッチを使用している場合は、市販スイッチをアンロック側→OFFと操作します。市販スイッチをアンロック側ONに切り替え、すぐにOFFに戻してください。

※OFFに戻さないとお知らせ機能が動作しません。



ドップラーセンサーについて

設置について

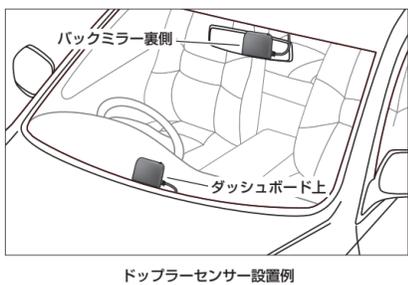
不審者を検知したい方向に向けて設置します。

例:ダッシュボードやバックミラー裏側などドップラーセンサーには向きがありますので、設置の際はご注意ください。

※必要に応じてドライブレコーダーの向きも調整してください。

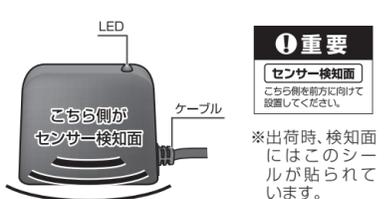
ドップラーセンサー設置上の注意

- フロントガラスには貼り付けないでください。フロントガラスに貼り付けると保安基準に適合しません。
- ダッシュボードに設置する場合は、センサーが発する電波がワイパーやボンネットなどに妨げられない位置に設置してください。(ドップラーセンサーが発する電波は金属を透過できません)
- ドップラーセンサーには向きがありますので、設置の際はご注意ください。



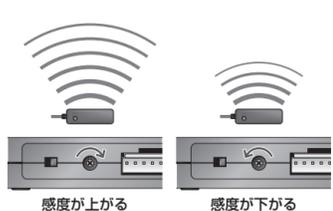
検知面・検知範囲について

下記の範囲・面で検知します。



感度調整方法

実際に動作させながら最適な感度に合わせてください。



反応可能なタイミングについて

ドップラーセンサーは間欠動作をおこなっており、LED点滅のサイクル中でLEDが光っているときのみ反応します。消えているときは反応しません。LED点灯時間:1.5秒(固定) LED消灯時間:4.5秒(工場出荷時) / 3秒 / 1.5秒

切り替え方法:監視中にキーレスでドアロックすることに4.5秒→3.0秒→1.5秒→4.5秒...の順に切り替わる*

⚠️ LED消灯時間が短いほどセンサーが反応可能な時間が多くなり、LED消灯時間が長いほどセンサーが反応可能な時間が少なくなります。

*キーレスのロックボタンとアンロックボタンが共通など、キーレスの仕様によってはこの操作ができない場合があります。

初期設定

本体のディップスイッチで、ドライブレコーダーへの各設定を変更することができます。

※ディップスイッチは爪楊枝などを使用して ON/OFF を切り替えてください。

電源供給時間の延長について

電源供給停止直前の 12 秒間に再度ドップラーセンサーが反応すると、電源供給時間を 30 秒間延長します。※延長機能は最大 20 回繰り返されます。※この機能を OFF にすることはできません。

電源供給時間設定方法

本体の電源供給時間設定スイッチでドライブレコーダーへの電源供給時間を設定できます。

電源供給時間	20 秒	30 秒	50 秒	60 秒
SWC295II本体電源供給時間設定スイッチ	OFF OFF	ON OFF	OFF ON	OFF ON
	↑ ↑	↓ ↓	↑ ↓	↓ ↓
	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	※工場出荷時			

●爪楊枝などを使用してディップスイッチを操作してください。

●使用するドライブレコーダーの電源が入ってから録画を開始するまでにかかる時間や一度に録画したい時間などを考慮して設定してください。

スリープモード移行電圧設定

本機はバッテリー消費を抑えるためにスリープモードを搭載しており、バッテリー電圧がスリープモード移行電圧以下になると自動的にスリープモードに移行し一切の動作を停止させます。

スリープモード移行電圧	12.0V	11.2V
SWC295II本体電源供給時間設定スイッチ	OFF	ON
	↑	↓
	1 2 3 4	1 2 3 4
	※工場出荷時	
起動時LED点滅動作	LED 1回点滅×3	LED 2回点滅×3

⚠️ ●バッテリーの劣化状態や使用状況によってはバッテリー上がり防止できない場合があります。

●スリープモード移行電圧を 12.0V に設定している場合に限り、ドライブレコーダーへの電源供給中はスリープモードに移行しません。

降雨誤反応対策設定

ドップラーセンサーはその特性上、雨に反応する場合があります。雨が降っていると判断した場合、一定時間通常の動作を停止させて不要な電源供給をさせなくすることが可能です。

降雨誤反応対策	OFF	ON
SWC295II本体電源供給時間設定スイッチ	OFF	ON
	↑	↓
	1 2 3 4	1 2 3 4
	※工場出荷時	

1. 電源供給時間の延長が10回連続した場合
2. 10分間センサーの監視動作が停止
 - ※この10分間はすべてのドップラーセンサーのLEDが2秒間隔で同時に点滅します。
3. 10分経過後、10秒間センサーが監視をおこなう
 - ※ドップラーセンサーを2個以上接続している場合はそれぞれ10秒間監視をおこないます。
4. この10秒間の監視中にセンサーが反応した場合、上記2に戻り、ドップラーセンサーが反応しなかった場合は通常の監視へ戻る